科目ナンバリング												
授業科目名 イタリア語II A I2101 - 英訳> Italian II A					担当職名	属名	非常勤講師 菅野 類					
群	外国語科目群			分野(分類)						使用言語	言語 日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ		授業用	形態 >	寅習 ((外国語)(対面授業科目)		
開講年度・開講期		前期	曜時限	K 5		配当	当学年	2 回生	以上	対象学:	生	全学向

[授業の概要・目的]

1回生向けの初級文法に引き続いて、イタリア語文法の基礎を学習する。動詞の様々な変化を中心 に文法を学び、イタリア語のテキストを自ら読み進められるようになる素地を作ることがこの授業 の目的である。

[到達目標]

現在・過去・未来の3時制を習得し、受動態や比較級の表現法と組み合わせることができるように なる。

[授業計画と内容]

教科書に沿って文法を説明する。ただし、それなりの早さで授業を進めていくので、あらかじめ予習を行い、自分なりの理解を済ませた上で授業に出席することが求められる。教科書の例文・練習問題の他に、追加の練習問題や読み物用のテキストを必要に応じ用意する。これによって、文法事項の習得度を確認し、なおかつ後期に予定されている講読への準備を行う。予習の際は、単語・文章の意味を把握するだけではなく、声に出して文章を読む練習を必ずしてくること。

本授業の予定は以下のとおりである。

- 1.初級文法の復習(第1週)
- 2.直接法半過去・大過去(第2-3週)
- 3.直接法未来・先立未来(第4-5週)
- 4.受動態(第6-7週)
- 5.比較級・最上級(第8週)
- 6.関係詞(第9-10週)
- 7.ジェルンディオ(第11週)
- 8.代名詞的小辞 ci と ne (第12週)
- 9.命令法(第13-14週)

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

平常点と定期試験を総合して評価する。成績評価基準の詳細については、授業中に指示する。

[教科書]

杉本 裕之 『Corso d'italiano 基礎イタリア語講座 -CD付改訂版-』(朝日出版社)ISBN:978-4-255-55311-5

イタリア語IIA **I2101(2)**へ続く

イタリア語IIA I2101(2)									
	 東習問題があ								
ればそれを解いておくこと。予習時間の目安は1回につきおよそ1時間。 [その他(オフィスアワー等)]									
授業中、わからないことについては積極的な質問を期待する。 [主要授業科目(学部・学科名)]									